

28 運動あそびの前に ゆらゆらクラゲート

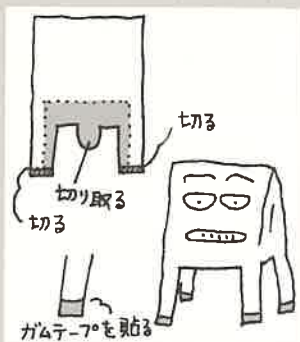
レジ袋で作るクラゲのパラシュートは、ゆらゆらとゆっくり落ちていくのがポイント。地面に落ちるまでのあいだ、何回、手をたたけるか——そんなちょっとしたゲームを盛り込むと、さらに子どもたちは夢中になります。

準備 スーパーのレジ袋、マーカー、ガムテープ

レジ袋は折り目の通りにたたんでしわを伸ばし、イラストのように切ります。マーカーで顔を描き、4本の足の先に小さく切ったガムテープを貼ります。

作り方のコツ

足の先の重りをあまり重くしないのが、ゆっくりと落とすコツ。重りの違うクラゲートをいくつか用意して、飛ばし比べをしても楽しいでしょう。



「見て見て！ 先生、ヘンなもの
つかまえちゃった〜！」



棒（ほうきなどでOK）の先にクラゲートをかぶせて、子どもたちの前に登場します。そんな保育者の姿に、子どもたちも興味を示すはず。

「なんだか生きている
みたいだよ」

「何だと思う？」などと子どもたちに
問いかけてみましょう。



レジ袋を切って
落とすだけ

小人数〜クラス単位

運動あそびのほか、運動会などイベントの幕間にも使えます。
拍手の練習に利用するのもおすすめです。

「それじゃあ、放してみるよ。そーれ」



棒を斜め上に突き上げるようにして、
ふわりとクラゲートを放します。

「ゆっくり落ちていくね」

ゆらゆらと落ちていくクラゲートに、
子どもたちの視線はくぎづけに！



「今度は、地面に落ちるまで、
拍手をしてみようか。
何回、手をたたけるかな？ そーれ！」



ふわりとクラゲートを放して、
子どもたちと一緒に
拍手をします。



パチ
パチ



1・2・3……



パチ
パチ

ワンポイントアドバイス

拍手をしながら、一緒に数を数えるのも楽しいものです。「今度は10回たたけたよ。次はもっとたたけるかな？」と、子どもたちは夢中になるはず。保育者は飛ばし方や重りを工夫して（左ページ参照）、浮遊時間を調整してみましょう。

Go! Next!

そのまま、クラゲートを追いかけてみたり、子どもたちにも飛ばしてもらったりしながら、運動あそびにつなげていきます。